

## エピソード

子ども達が遊びの場で水を汲んだり、流したりしていくうちに大きな水たまりができました。Aくんは水たまりの中を走り抜けたり、ジャンプをしたりして遊んでいました。そこにBくんが来て、水たまりの中に一緒に入りました。Bくんが水たまりの中でジャンプすると後ろにいたAくんもそれを見てジャンプをします。繰り返しジャンプをしていくうちに笑顔が増えていき、Bくんが「パシヤン」と言いながら思いきりジャンプをすると、Aくんも「パシヤン」と足に力を入れて大きくジャンプをし、水しぶきが跳んで楽しそうでした。「パシヤン、パシヤン」とAくん、Bくんの動きに合わせて近くにいた保育者が声をかけると、Bくんは「パシヤン」と一歩前にジャンプをしました。AくんもBくんに続いて「パシヤン」と一歩前にジャンプをし、2人は前へ前へと両足でジャンプすることを繰り返し、水たまりの中を水しぶきをあげながら進んで行きました。

## 子どもの育ちや学び



パシヤン  
(水が跳ねる面白さ)



パシヤン  
(友達と同じように飛ぶ楽しさ・  
水が跳ね返る面白さ)



パシヤン  
(やってみよう・  
楽しさ・面白さ)

- ・友達のしている面白そうな動きに興味をもち、自分もやってみようとする。
- ・水の冷たさを感じる。(水の感触)

- ・水たまりの中でジャンプをすると水が跳ね返ることを体で感じる。(水の感触)
- ・水が跳ね返った時の音を聞き、言葉で表現する。(水の音を感じる)

前進

- ・保育者の声を聞き、より大きくジャンプしてみようとする。
- ・前にいる友達を見て先程との動きの違いを感じ、音を言葉にしながら進む。
- ・ジャンプしながら前に進むことで水しぶきが続けてあがることを感じる。(感触、水の動き)

・前にいる友達の動きや水が跳ね返る音を聞いて同じような動きでジャンプする。  
(友達を見る・水の音を聞く→感覚的に体を動かす)

## 保育者の思い

- ・水たまりの中を走ったり、ジャンプをしたりして遊ぶことが多いAくん。Bくんと一緒に水たまりに入ったことでBくんの動きに目を向け、同じようにジャンプをするというAくんの姿につながったと思いました。
- ・繰り返しジャンプをするうちに、BくんとAくんのジャンプがリズムようになっていくとともに、「パシヤン」という声も聞かれるようになり、楽しさが増していく様子が感じられました。近くで見ていた保育者も楽しくなり、「パシヤン、パシヤン」と、動きに合わせて声をかけました。
- ・水たまりの中を2人でジャンプをしながら前に進んでいく姿があり、初めは各々で遊んでいましたが、友達と関わりをもって遊ぶ姿が見られるようになりました。続けてジャンプをすることで水しぶきが途切れずにあがったり、いつもとは違う水の感触を感じたりしているようでした。

## 家庭だったら・・

子ども達は体全体で水の動きや感触を感じながら遊んでいます。暑い日が続き、水に触れることが多くなってきています。子どもが水に触れながらどんなことを感じているのか、お家の方も一緒に遊ぶ中で感じてみるのも楽しいかもしれませんね。